



発行 大阪市学校園教職員組合

大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)
編集・発行人 中路 龍太郎

TEL 6910-8700 http://osaka-shikyo.sub.jp/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyoi@sea.plala.or.jp

憲法九条 生かして

核兵器のない世界を

メーデー・憲法記念日・NPTニューヨーク行動



タイムズスクウェア前で、署名活動後、今は集会です。署名も快くしてくれ人もあり、演説はするの？パレードは何時から？と関心の高い人も。たくさんの人でいっぱいです。集会もパレード

NYからメール

なごう核兵器4・25府民のつどい、普天間基地無条件返還！沖縄連帯4・28緊急昼休みデモ、第81回大阪メーデー(5月1日)、核兵器のない世界のための国際行動デー(5月2日)ニューヨーク、九条の会おささか憲法記念日のつどい(5月3日)に大阪市教の組合員が参加しました。

世界に響け 九条の心

「世界に響け、九条の心」今こそ力強く「九条の会」おささかが開いた憲法記念日のつどいに千人が参加しました。つどいには原水爆禁止日本協議会の呼びかけで全国各地か

も人、人、人。プラカードやコスチュームで盛り上げる人、だんじり囃子で励ます人、賑やかです。途中アメリカの人が楽器演奏で激励。最後は国連広場に署名を積み上げて行動が終わりました。

たんぽぽ

「核兵器のない世界の実現を」スローガンに掲げる大阪メーデー。大阪市教は「普天間基地の無条件撤去、憲法が生かされる政治・教育を実現しよう」の横断幕を掲げ、組合員90人が参加しました。動くものが要求実現のために団結し、連帯の力を示すメーデー。昨年の自民党政治への審判に続

「ちょっと先輩からの一言」や司

5月

「たんぽぽフェスタ」に今年初めて出る青年がたくさんいた事がとても嬉しかったです。みんなで歌う曲は Believe ととなり手話や手拍子を取り入れ、参加者が一体となった工夫がありました。

また恒例となったクイズコンテストや明日から使えるようなゲームも、実行委員が意見を

仲間が増えた!

「職員勤務状況事務処理システム」(ICカードによる出退勤管理)についての緊急分会代表者会議を4月20日開催しました。市教委のスケジュールの遅れや、管理職からの詳しい説明がないなどが原因で、多くの職場で混乱が起こっている下の開催でした。管理強化を許さず、労働時間の適正な把握で長時間勤務解消を実現させる立場で、職場討議資料(Q&A)や市教委文書などの説明を行い、質疑や意見交流、とりくみの報告もありました。今後、職場で時間管理を適正に行わせ、休憩時間確保など、長時間労働解消のとりくみを粘り強く行うことを意思統一しました。

「職員勤務状況事務処理システム」(ICカードによる出退勤管理)についての緊急分会代表者会議を4月20日開催しました。市教委のスケジュールの遅れや、管理職からの詳しい説明がないなどが原因で、多くの職場で混乱が起こっている下の開催でした。管理強化を許さず、労働時間の適正な把握で長時間勤務解消を実現させる立場で、職場討議資料(Q&A)や市教委文書などの説明を行い、質疑や意見交流、とりくみの報告もありました。今後、職場で時間管理を適正に行わせ、休憩時間確保など、長時間労働解消のとりくみを粘り強く行うことを意思統一しました。

4・25府民の集いには府民900人が参加。5月3日から国連本部で開かれるNPT(核不拡散条約)再検討会議の成功をめざす150人の大阪代表団のメンバーが壇上でアピールしました。立命館大学国際平和ミュージアム安齋育郎名誉館長が「憲法9条を生かして、核兵器のない世界の実現を」と記念講演を行いました。

ニューヨーク行動を現地からレポートしました。

「世界に響け、九条の心」今こそ力強く「九条の会」おささかが開いた憲法記念日のつどいに千人が参加しました。つどいには原水爆禁止日本協議会の呼びかけで全国各地から1500人が参加したニューヨーク国際行動の最新映像・レポートが届きました。歩道で開かれた集会では和太鼓が響き、被爆者が訴えまじりました。署名活動も映し出されました。記念講演で新藤道弘元明治大学教授は、米国からの自立

をほかる中南米諸国民のたたかいを紹介。ベネズエラなどは憲法で外国軍基地設置を禁止し、平和国家であることを規定。紛争の平和解決を原則とするラテンアメリカ・カリブ海諸国機構も創設されていることを示し、先んじている日本国憲法の進歩的規定を実現しようと呼びかけました。

「仲間が増えた!」連続講座でフェスタで分会会議に参加して加入

新しい年度が始まって1カ月。大阪市教への加入が続いています。4月2日に行われた第1回先輩のワザ伝授の「わくわく学級づくり」では、新採用の青年がなんと講座中加入書にサイン。ある中学校では2年目の青年が、青年フェスタや職場の分会会議に参加するなかで、組合が身近かに感じられるようになり加入。城北支部では支部の歓迎会に未組合の青年が参加し、説明を聞きその会の中で加入。そして、4月24日に行われたしんかんフェスタ。講師の青年が労働条件の悩みを聞いてもらう中で加入。2年目の青年は組合のとりくみに毎回参加し、フェスタと一緒に参加した先輩たちを信頼して加入。ドラマが続きます。